

# 令和5年度 事業報告書

当財団は、令和5年度事業計画に則り下記の通り事業活動を行った。

## 1. 難病救済啓蒙事業

愛知県内の他の難病救済機関と協力しながら、県下の報道機関・病院・企業団体並びに、一般県民に対して、難病に苦しむ患者への理解と一層の協力を求めるために、啓蒙活動を行った。

尚、令和5年11月に手記の朗読・演劇・パネル展示の啓蒙イベントを開催した。

## 2. 難病研究助成事業

(1) 愛知県内の難病の研究機関「愛知県特定疾患研究協議会」に対して1,000,000円の助成を行うことを決議し、助成金の支給を行った。

(2) 愛知県内の難病患者に対する福祉活動、難病の啓蒙活動、実態調査等を行う団体に対し、理事会の決議に基づき、9団体に総額1,720,000円の助成を行うことを決議し、助成金の支給を行った。

今後も、従来の助成先だけでなく広く一般の人に対して当基金の助成事業の周知に努め、本当に助成金を必要としている先へ多く支給できるよう、助成する先およびその金額につき、今まで以上に慎重に協議し決定していきたい。

## 3. その他

前代表理事であった天野鎮雄氏が令和5年11月5日に死去し、鎮雄氏の次女である小田ひさ英氏が代表理事に就任した。

又、この財団法人発足のきっかけが前代表理事の天野鎮雄氏がパーソナリティをやっていたラジオ番組の中での難病救済のための竹筒募金が始まりという事もあり、その由来を法人名に残したいと理事からの提案もあり、鎮雄氏の愛称である「アマチン」を入れた名称に変更した。

(令和6年1月開催の評議員会・理事会にて決議)